

サンプル版

航空通「英語」(平成20年8月期)

このサンプル版は、完成版の一部をピックアップし説明を加えたものです。



英会話が合否を左右する

航空通英語の試験の合格ボーダーラインは、60点と言われておりますが、合格の鍵を握るのは英会話でしょう。英会話は7問中3問以上正解しないと、英語の試験そのものが、不合格になってしまいます。英会話で35点取れば、筆記試験は70点中25点取れば合格なんです。英会話の配点は105点満点中、35点です。1問5点で、合格ギリギリの3問正解だと15点ですから、筆記試験で45点取らなければ合格ラインの60点にならないですよ。他の問題で45点を取るのには、英語が苦手な人にとっては厳しいですよ。ですから、英会話で点を稼ぎましょう。英会話は、どうも苦手だと思っておられる方がいらっしゃると思いますが、航空通の英語の試験で最も点を取りやすい箇所であり、また、重要な箇所でもあります。

英会話の問題は、筆記試験に比べて簡単です

英会話は、中学校程度のリスニング力があれば十分です。高校入試のリスニング試験よりも簡単です。その理由は、問題はそれぞれ短い疑問文が7問あり、四つの選択肢から正解を選ぶ形式だからなのです。問題は3回読み上げられ、最初はゆっくりと、2回目は1回目より速い速度で、3回目は2回目より早く流れます。問題文が短いといっても完璧に一時一句単語が聞き取れなくても、問題が何を問っているかがわかれば良いのです。聞き取れた部分と選択肢から、どういうことを聞いている問題なのかがわかります。

英会話以外の問題は、英検2級位(高校卒業程度の英語力)の基礎力が必要だと思います。長文の設問は5問(A1～A5)です。過去12回の長文問題を、航空機関係、宇宙開発関係と環境問題等に関係したものを、年度期別に、どの分野からの出題問題かがわかるよう表にしていますので参考にしてください。

法規、無線工学については電波受験界に「最近の試験と出題状況と注目問題」として掲載されていますが、英語に関しての傾向は載っていません。筆記試験の出題形式は同じでも、同じ問題が出題されてないの的が絞りにくいのでしょう。英会話に関しては過去5年間で同じ内容の問題が結構出ていますし、筆記試験に比べて簡単ですので、ここで点を稼いでおかない手はないですよ。

航空通でいう英会話とは、聞き取り問題なのです。

下記Question 1. ～ Question 3.のような設問が7問あり、ネイティブスピーカーが、読み上げたのをテープレコーダーで流したものを聞き、選択肢(1)～(4)から正解を選ぶ形式ですから、英会話といっても試験官と実際に英語で会話をするというものではないのです。航空通でいう英会話とは、要するに聞き取り問題なのです。

聞き取り問題で注意しないといけないのは、日本人が問題を読み上げれば聞き取れる単語も、**ネイティブ・スピーカーが発音すると、聞き取れない箇所が出てくる**という点です。

最初は、ゆっくりと問題が読み上げられますが、二回目は少し速くなります。そして、さらに

速くなると、音が変化して単語と単語がくっついて一つの単語のように聞こえるのです。その辺りのことについて、難しい用語を使わないで基礎的な部分だけを、問題に沿って説明を加えていますので参考にしてください。

それでは、平成14年8月期～平成19年2月期の英会話の問題から3問だけですが、聞き取れた単語で、選択肢の何番が正解なのかを見てください。

(赤字の単語が聞き取れれば、選択肢と聞き取れた部分から問題の内容がわかります。)

Question 1. Which is the strongest, sun, moon-or starlight?

どれが 一番強い 光を放つ(輝く)?

上の三つの単語が分かれば、問題の意味はわかりますよね。

それで選択肢を見れば正解はすぐわかります。

あるいは二つの単語 (Which, strongest)でも選択肢をみればわかりますよ。

さらに、一つの単語strongestの意味だけでも選択肢をみればわかります。

- (選択肢)
- | | |
|------------------------------------|---------------------------|
| (1) sunlight. | (1) 太陽光 |
| × (2) moonlight. | (2) 月明かり |
| × (3) starlight. | (3) 星の明り |
| × (4) They are all about the same. | (4) 太陽も月も星もみなほとんど同じ明るさです。 |

この問題から正解を選ぶためには、strongest の音が聞き取れなくてはなりません。聞きとるには、自分もその音が出せないと聞き取ることはできないでしょう。しかし、ゆっくりした速度(一回目の読み上げと二回目の読み上げ)では、恐らくこの単語であろうと判断がつくと思います。読み上げの速度が速くなると聞き取りにくくなりますので、この段階で聴き取っておいてください。もし、聞き取れなかったとしても気にしないでください。Which ストゥ light? からでも選択肢を見てみると、太陽、月、星のlightですから、明るさだというのがわかりますね。一番強いのか弱いのかのどちらかを聞いているのだということが分かりますので、ストゥのところ集中して聞いてみてください。その段階で2回目問題が読み上げられた時に、strong まで聞きとれたとしたら、正解がわかりますね。聞き取れなくてもストゥから判断して強いというのが想像できますよね。判断できない場合は、次の問題が聞き取れなくなってしまう

いますので、後回しにしてください。後から、選択肢とで判断してください。その時間は十分ありますので、焦らないようにしてくださいね。聞き取れる問題も聞き取れなくなってしまいます。

発音練習をしてみましょう

一気に下記のカタカナ部分を発音してみてください。

【発音】 strongest **ストウウオン**ゲェス(トゥ) ← × ストロングェスト storonguesto
o,u,oを付けて発音しないこと
Rの音が入っているつもりで声を出してみてください。

moon-or starlight **ムーン**スターライ(トゥ) ← × ムーン オア スターライト
light **ライ**(トゥ) ← × ライト lighto
上のlightのように(トゥ) が聞こえにくい聞こえない時があります。

sunlighto }
starlighto } o 母音を付けて日本語のトの音で発音しないように注意してください。
lighto }

単語の最後がTで終わっている単語の聞き取りに注意!

私たちが単語を覚えてきた方法は、読めない単語を読むためにフリガナを振って覚えてきましたので、どうしても日本語の音になってしまいます。私は、読むためのフリガナではなく、英語の音に近づけるようなフリガナを振ろうとしています。勿論、日本語の音をそのまま使ってかまわない音もたくさんあります。問題なのは、日本語にない音にフリガナを振るには、どうしても音の区別ができなくては出せない音があります。上記の発音のところ、カタカナで書いた部分を発音するにもRとLの区別が必要になります。(音の出し方のコツについては、完成版で説明しています。)

Question 2.

How might you ask a person /where he lives?

どのように 尋ねるか どこに 住んでる？

(選択肢)

- × (1) Do you live well?
- × (2) May I call on you at home?
- × (3) How long have you been there?
- (4) May I have your address?

ここでは、上の四つの音が聞き取れなければ選択肢から正解を選ぶことができません。

「どこにお住まいですか」と尋ねる場合は May I have your address? と聞くのが一般的です。

みなさんは、初めて会った人に名前を聞くと、どのように言いますか。90%の人たちはWhat is your name? と答えるでしょう。でも May I have your name? と聞くのが普通なのです。…で「名前は？」てな冷たい感じの時とか、子供に聞くとときとか……。What is your name? …。しかし、この表現しか出てこないときには、これに一つの単語を加えれば変わってきます。その単語は何でしょう。

【発音】 ask a person エスカプースン ← ×アスク ア パーソン

How might you ask a person ハウマイチュ(-)エスカプースン

ハウマイユーエスカプースン

where he lives? フェアーイリヴズ

日本語ではVとBの音の区別がありませんが、VとBの音を使い分けなければいけないのですが、単語にフリガナを振るときには、Vはヴ、Bはビで区別してみてください。後からフリガナを見て発音するときにVなのかBなのかの区別ができます。このVとBの音の出し方は完成版で説明しています。

航空通の英会話の過去5年間の問題で、発音で注意しなければいけない基本的なところ(数は多くない)には、説明を加えていますので繰り返し練習してみてください。それで、音の出し方や音の区別ができるようになると、その部分の聞き取りができるようになります。

【例】 But I ~. バット アイ ~. が But I ~. バライ のようになります

Question 3.

What must a(ネアカラフ)do when it is (アプローチンディ エアポー) for landing?

- (1) It must increase its speed and ascend.
- (2) It must increase its speed and descend.
- (3) It must decrease its speed and ascend.
- (4) It must decrease its speed and descend.

一回目の聞き取りで、聞き取れたのは下記の 以外です。

What must a do when it is airport for landing?

それで二回目の聞き取りでも、一回目聞き取れなかった部分が、やはり聞き取れなかったとしても、設問は大体わかりますよね。

What must do when it is airport for landing?

何をしなければいけないか

着陸するために

着陸するのに



何を(どのように)しなければいけないか

以上のことが聞き取れたので、

選択肢から判断して(1)(2)は速度をあげなければいけないmust increaseということなので不正解です。

(3)(4)は速度を落とさなければいけないmust decreaseですから、このどちらかですね。

(3)は、速度を落として上昇する。これは、着陸するのに上昇ascend.は変だね。

(4)は、速度を落として下降descend.する。着陸するときは下降しないと着陸できませんので、これが正解ですね。

聞き取れた部分だけで、どういうことを問っているのかがわかります。

極端ですが、設問から landing しか聞き取れなかった場合でも、これらの選択肢から十分に想像できますので、選択肢4を選ぶことが可能です。わかっていることは、着陸することだけですから、選択肢を見て、着陸するためにしなければいけないことを、選べばよいのです。

それから、聞き取れなかった部分を書き出した部分ですが

ネアクラフ (an aircraft) は、anのnとaircraftのaと一緒に発音されnaircraft

アプローチンディエアポー (approaching the airport) は、Rの音が入ってきますね。

この問題の全文は次の通りです。

What must an aircraft do when it is approaching the airport for landing?

航空通の英会話については、過去の問題から航空無線の専門用語、法規に関係のある問題もありますが、法規の知識がなければ解答できないような問題ではなくて、常識的に考えて解答できる範囲の問題です。(過去5年間で1問を除いて)

完成版には、平成14年8月期から20年2月までの英会話の問題の訳、覚えておきたい語句や、年度別出題状況や付録の多岐選択式テクニック等を載せていますので参考にさせていただければ幸いです。そして、英会話全問正解を狙ってください。そんなこと出来るはずがないといった、先入観は捨てて Go for broke! (当たってください!) の、前向き姿勢で挑戦すれば、以外と簡単に合格すんじゃないですか。

対象期間中、追加事項がありましたら逐次 e-mail にて配信いたします。

平成20年6月

岩本博章